



# 士別ロータリークラブ

創立 1960・3・24 RI第2500地区

Vol. 13 No. 2689

2019-2020年度国際ロータリーテーマ



2019-2020年度 国際ロータリー  
会長 マーク・ダニエル・マローニー

RI HP <https://www.rotary.org/ja>

2500地区ホームページアドレス <http://rid2500.jp/>

2019-2020年度士別ロータリースローガン  
**地域に根ざそう奉仕の力で**



士別河川防災ステーション (天塩川河川敷)  
2005年会報から 画: 百瀬達夫元会員

- 例会場 / 士別グランドホテル
- 例会日 / 毎週月曜日 12:10~13:10
- 事務所 / 士別グランドホテル TEL 0165-23-1234
- 会長 / 近井孝義 ■ 副会長 / 谷 温恵
- 幹事 / 但木行久

士別ロータリークラブ HP <http://www.douhoku.jp/sibeturc/>

## 今日のプログラム

第2773回例会 2019年10月28日(月) 夜間例会

### 前回(10月21日)の記録 ・ 普通例会

- ・ 司 会 伊藤優市 会場監督
- ・ 齊 唱 我等の生業
- ・ 本日の出席 会員47人 出席31 出席率: 65.95% 修正: 74.46%
- ・ 本日の欠席 井口裕史、泉谷 勇、江端建之、大江智信、片庭 暁、加藤 博、鈴木 勉、田中道也、深尾幸夫、藤吉敏博、前田孝幸、水田孝志、山下卓巳、大橋直幸、国森和麿、近藤峯世
- ・ メークアッス ■ 釧路地区大会 (18名・10月12日(土))  
近井孝義、但木行久、大橋直幸、谷村一文、志村孝幸、片庭 暁、北村浩史、山口哲雄、奈良康弘、谷 温恵、織戸俊二、佐藤元信、泉谷 勇、菊地 仁、福島和秀、加藤 博、深尾幸夫、近藤、嶺世
- ・ ビジター
- ・ ゲスト
- ・ ニコニコBOX 近井孝義 (釧路地区大会終了御礼)、菊地昭通 (次女恵里様御婚礼御礼)、千葉道夫 (士別神社御創祀120周年終了御礼)、佐藤元保 (士別神社御創祀120周年臨時大祭記念式典終了御礼)  
累計 150,000円

### 例会予定

#### ■ 10月例会【経済と地域社会の発展月間・米山月間】

- 10月7日(月) 例会・理事会
- 10月11~12日 地区大会
- 10月14日(月) 休会 (法定休日: 体育の日)
- 10月21日(月) 例会
- 10月28日(月) 夜間例会

#### ■ 11月例会【ロータリー財団月間】

- 11月4日(月) 休会 (法定休日: 文化の日)
- 11月11日(月) 例会・理事会
- 11月18日(月) 例会
- 11月25日(月) 夜間例会

10月は経済と地域社会の発展月間です。

ロータリーが活発に活動できる社会は経済的にも良好に循環している証しだと思います。私たち一人ひとりの活動が地域発展の原動力と考えて活動したいものです。

以前は、職業奉仕月間でした。ここ最近、職業奉仕がロータリーの中で議論されなくなってきたような気がするの、私だけでしょうか？

五大奉仕の中にも入っていた職業奉仕、そこで五大奉仕は何だったか、少し思い出してみたいと思います。

クラブ奉仕＝奉仕の第一部門であるクラブ奉仕は、本クラブの機能を充実させるために、クラブ内で会員が取るべき行動に関わるものである。

職業奉仕＝奉仕の第二部門である職業奉仕は、事業および専門職務の道徳的水準を高め、品位ある業務はすべて尊重されるべきであるという認識を深め、あらゆる職業に携わる中で奉仕の理念を実践していくという目的を持つものである。会員の役割には、ロータリーの理念に従って自分自身を律し、事業を行うことが含まれる。

社会奉仕＝奉仕の第三部門である社会奉仕は、クラブの所在地域または行政区域内に居住する人々の生活の質を高めるために、時には他と協力しながら、会員が行うさまざまな取り組みから成るものである。

国際奉仕＝奉仕の第四部門である国際奉仕は、書物などを読むことや通信を通じて、さらには、他国の人々を助けることを目的としたクラブのあらゆる活動やプロジェクトに協力することを通じて、他国の人々とその文化や慣習、功績、願い、問題に対する認識をつちかうことによって、国際理解、親善、平和を推進するために、会員が行う活動から成るものである。

青少年奉仕＝奉仕の第五部門である青少年奉仕は、指導力養成活動、社会奉仕プロジェクトおよび国際奉仕プロジェクトへの参加、世界平和と異文化の理解を深め育む交換プログラムを通じて、青少年ならびに若者によって、好ましい変化がもたらされることを認識するものである。

この奉仕活動の中で今回、谷温恵副会長がリソースとサポート委員会の委員としてR I 2500地区に出向しています。やっと仕事が回ってきたようで、タイのフーケットの方で奉仕活動として小学校を造るということで、8名の方が2500地区から行くのですが、谷委員がその補助金を承認してほしいということで承認を行いました。谷委員の初仕事です。たぶん、これで仕事は終わってしまうかもしれませんが、土別からもこういうところで参加してほしいところです。

米山月間については次回とします。

※「リソースとサポート」とは

R I 理事会は2010年11月、旧来の「世界社会奉仕委員会、ロータリーボランティアプログラム」を廃止した。

2500地区は、「リソースとサポート委員会」と名称変更し、「ロータリー財団のグローバル補助金・パッケージ補助金チーム」と兼務することになった。

「リソース」とは、「人的資源・物資的資源」とし、「サポート」とは、「人的、資金、物資的なものを指す」としている。

## ■ 幹事報告 ・ 但木行久幹事

1) 今月、12日に釧路市で開催されました地区大会に参加された会員のみな様、大変お疲れ様でした。当クラブより18名の会員登録にて参加して参り、前ガバナー補佐の織戸会員と、ライラーセミナーホストクラブとして土別ロータリークラブの表彰状を頂いてきました。

2) 2018-2019年度国際ロータリー第2500地区の細川ガバナーより会員維持率、会員増強・拡大賞の感謝状が届いております。

3) 台風15号災害義援金として、ガバナー事務所へ5万円の送金しましたことを報告いたします。

4) 次週28日の夜間例会前に5時より理事会を開催致しますので、理事・役員の方は御出席をお願いします。

